

小金井市の温室効果ガス排出量の推移

小金井市における温室効果ガス排出量の推移

(単位：1000t-CO₂eq)

ガス種	基準年度	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
二酸化炭素 (CO ₂)		236	236	272	278	273	305	332	297	300	277	318	301	300	295	320	340	333	319	307	303	312	294	283	286
メタン (CH ₄)		0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1
一酸化二窒素 (N ₂ O)		3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)		1		1	3	3	3	3	4	3	8	9	11	11	12	13	18	20	22	24	28	29	30	32	
パーフルオロカーボン類 (PFCs)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六ふっ化硫黄 (SF ₆)		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三ふっ化窒素 (NF ₃)		0																0	0	0	0	0	0	0	0
合計		241	239	277	284	280	312	339	304	307	283	329	313	313	308	333	354	352	341	331	329	341	325	315	320

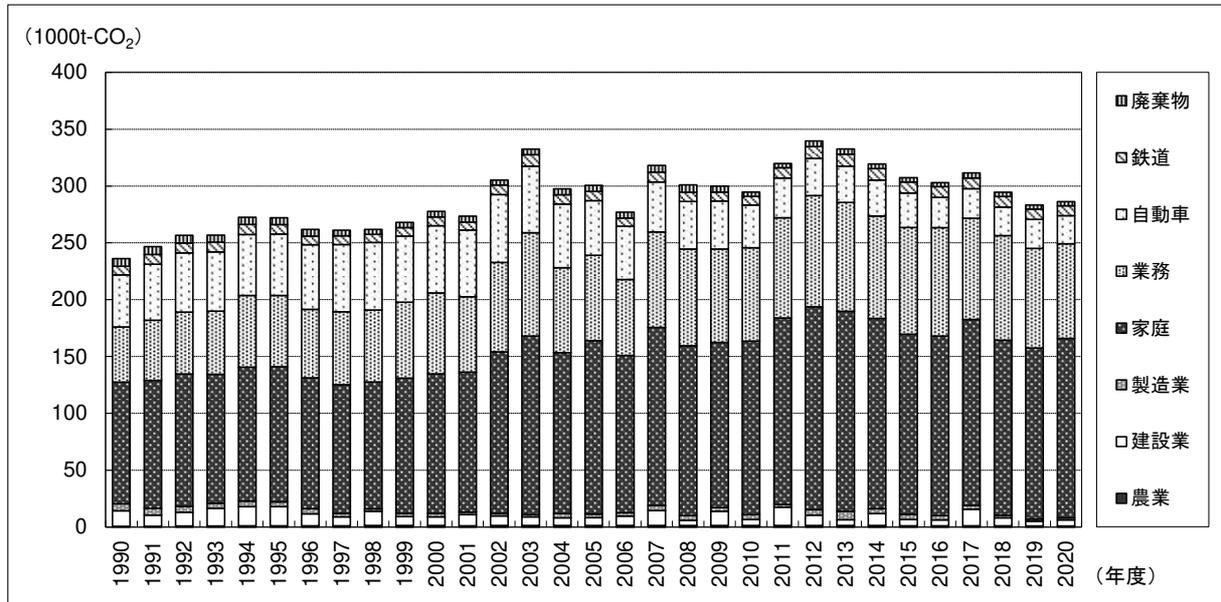
(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

小金井市における部門別二酸化炭素排出量の推移

(単位：1000t-CO₂)

部門	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
建設業	14	17	8	10	8	8	7	7	8	13	5	13	6	16	9	5	11	6	5	14	7	4	5	5
製造業	6	4	3	2	2	2	4	3	3	4	4	3	4	3	5	7	4	4	4	3	2	2	2	2
産業部門	20	22	12	13	12	11	12	11	13	19	10	17	11	20	15	14	16	11	10	19	10	7	8	8
家庭	107	119	123	123	142	157	141	153	138	157	149	145	152	164	178	176	167	158	158	164	154	150	158	158
業務	49	62	71	66	79	91	75	75	67	84	85	82	82	88	98	96	90	94	95	89	92	88	83	83
民生部門	156	181	194	189	221	248	216	228	205	240	234	227	235	252	276	272	257	252	253	253	246	238	241	241
自動車	46	54	59	59	60	59	56	48	47	44	42	42	38	35	33	32	32	30	27	26	25	25	25	25
鉄道	8	8	7	7	8	10	8	8	7	9	8	8	8	9	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9
運輸部門	53	62	67	66	68	69	64	56	54	53	50	50	45	44	43	42	42	40	36	35	34	34	33	33
廃棄物部門	7	6	5	5	4	5	5	5	5	6	6	5	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
合計	236	272	278	273	305	332	297	300	277	318	301	300	295	320	340	333	319	307	303	312	294	283	286	286

(注) 表中の数値は小数点以下を四捨五入している。



小金井市における部門別二酸化炭素排出量の推移

用語・単位について

二酸化炭素排出係数

燃料 1 単位（例えばガスの場合 1 m^3 ）の燃焼に伴う二酸化炭素（ CO_2 ）排出量を表す。なお、電気の二酸化炭素排出係数は、 1 kWh の供給に必要な燃料の燃焼に伴う二酸化炭素排出量を意味することが一般的で、単位は $\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$ となる。

地球温暖化係数（Global Warming Potential : GWP）

二酸化炭素と比べて、他の温室効果ガスがどれだけ（何倍）温暖化に影響を与える能力があるかを示す数字である。例えば、メタン（ CH_4 ）のそれは 25 とされており、これは二酸化炭素の 25 倍程度の温暖化する能力があることを意味する。

t- CO_2 / t- CO_2eq

t- CO_2 は、二酸化炭素 1 トンを意味する単位で、「トン CO_2 」と呼ぶ。また、t- CO_2eq は、各種の温室効果ガスの排出量に地球温暖化係数を乗じて t- CO_2 相当量に換算した値に付される単位であり、「トン CO_2 イクイヴァalent（equivalent）」または「トン CO_2 イーキュー」と呼ぶ。

TJ

10^{12} J （ジュール）を意味する単位で、「テラ・ジュール」と呼ぶ。

主な温室効果ガスの種類について

二酸化炭素 (CO₂)

代表的な温室効果ガスであり、我が国の温室効果ガス排出量全体の 90%以上を占めている。化石燃料の燃焼などが排出源となっている。地球温暖化係数は 1 である。

メタン (CH₄)

天然ガスの主成分である。常温では気体で、よく燃える性質を持っている。稲作の水田、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなどが排出源となっている。地球温暖化係数は 25 である。

一酸化二窒素 (N₂O)

数ある窒素酸化物の中で最も安定した物質で、他の窒素酸化物（例えば二酸化窒素）などのような害はない。燃料の燃焼、工業プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は 298 である。

ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)

塩素を有しないためオゾン層を破壊しない一方、強力な温室効果を有するフロンガスである。スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、化学物質の製造プロセスなどが主な排出源となっている。例えば、代表的な HFCs の 1 つである HFC-134a の地球温暖化係数は 1,430 である。

パーフルオロカーボン類 (PFCs)

炭素とフッ素だけからなるフロンで、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。例えば、代表的な PFCs の 1 つである PFC-14 の地球温暖化係数は 7,390 である。

六ふっ化硫黄 (SF₆)

硫黄の六フッ化物で、強力な温室効果を有する。電気の絶縁体などが排出源となっている。地球温暖化係数は 22,800 である。

三ふっ化窒素 (NF₃)

窒素とフッ素からなる無機化合物で、強力な温室効果を有する。半導体の製造プロセスなどが排出源となっている。地球温暖化係数は 17,200 である。

※出典：オール東京 6 2 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」